

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
 通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、
 国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、
 研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を
 学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	経皮的動脈弁植込み術（TAVI）後に発生した大動脈基部損傷 16症例に対する管理アルゴリズムに基づく治療成績の ケースシリーズ
当院の診療科・研究責任者	循環器内科・多田 憲生
他の研究機関	なし
本研究の目的	心嚢ドレナージや補助循環などを段階的に組み合わせたアルゴリズム によって、緊急開胸を回避できる可能性が示唆されているものの、詳細な経過を報告した研究は少ないため、バルーン拡張型TAVI施行2000 例中に発生した大動脈基部損傷症例を対象に、管理アルゴリズムによる治療経過を詳細に検討し有効性を検証する事です。
研究期間	2014年1月～2025年6月
研究の方法（対象となる方）	当院で実施したバルーン展開型TAVI症例
研究の方法（利用する情報）	既存の診療録、当院TAVI registryデータ、心エコー・CT画像を用いた後方視的解析を行う。 - 患者背景（年齢、性別、併存症） 大動脈弁輪およびLVOTの石灰化や形状、バルーンサイズ、 拡張圧 発症タイミング、損傷様式、管理内容（ドレナージ、 止血剤、補助循環、開胸移行） 転帰（開胸回避率、院内死亡率） を収集解析する。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は 削除致します。 （利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。） 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、 その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-728-8000 【担当者】 循環器内科 多田憲生
備考	